

3 富山県立学校校務 DX 計画（主に特別支援学校）

令和7年3月

1 校務の改善に向けた取組について

ICTを活用し、児童生徒の力を最大限に引き出すとともに、業務の効率化など教育現場の負担軽減等を図り、ひいては教育をより良い方向に変革することを目標とした富山県学校教育情報化推進計画（令和5年3月策定）において、4つの基本方針のうちの1つとして、校務の改善に向けた取組としての「校務のICT化等による業務の効率化」を示している。

2 校務のICT化等による業務の効率化を推進する上での現状と課題

本県では、教員への1人1台端末の配備による校務の効率化や教職員の業務負担軽減、統合型校務支援システムの整備、校務のICT化による学習指導や生徒指導等の質の向上、学級・学校運営や教職員のサービス・給与・旅費などの事務システムの導入等による事務手続きの簡素化・効率化を図ってきた。一方で、学校内の連絡等については、職員会議や職員への周知、行事予定や特別教室の利用予約等のデジタル化は進んでおらず、クラウドツールの積極的な活用による負担軽減とコミュニケーションの活性化が課題である。

3 校務のICT化等による業務の効率化を推進するための課題解決策

校務の効率化・ペーパーレス化の大きな阻害要因となっている、紙書類やFAXでのやり取り等の見直しを進めるとともに、クラウドツールの積極的な活用を図るため、ICT研修等において情報共有や事例紹介等を行う。

4 次世代校務DX環境の整備について

令和5年3月に文部科学省が取りまとめた「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務DX」環境（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務DXの在り方）を目指し、必要な環境整備について今後、検討を深める。